

編集後記

お茶の水女子大学ジェンダー研究センター年報『ジェンダー研究』第16号が無事刊行の運びとなった。執筆者をはじめ、学内外の査読者、日本語・英語校正者、印刷会社、その他さまざまな形で関与くださる方々のおかげであり、ご協力に深く感謝申しあげる。

本号では、巻頭論文としてフェミニスト経済学者のスーザン・ヒメルヴァイト教授より、ケアをめぐる経済学理論と政策的示唆に関し、ご寄稿いただいた。第14号のジュリー・ネルソン教授、第15号のダイアン・エルソン教授と並ぶ、フェミニスト経済学の世界的権威であり、アンペイドワークを含む再生産領域を加えたジェンダー視点からの経済学理論の最新の知見を示している。続いて投稿に関しては、本号では9本が提出され、厳正なる審査を経て3本の論文と2本の論文翻訳が採用された。投稿論文3本のうち2本は女性労働、1本はメキシコ文学の研究であり、若手ジェンダー研究者ならではの意欲あふれる論文である。翻訳は、18世紀ドイツにおける性差に関する哲学的議論、および1950年代台湾における女性作家作品に関する論考を掲載している。書評は、政治学、経済学、社会学、ドイツ文学にまたがる領域から図書を5点、取り上げた。また当センターの成果刊行プロジェクトによるシリーズ〈国際ジェンダー研究〉の新刊を、図書紹介としている。このように本号も、領域横断的かつ国際色豊かにジェンダー研究の成果を扱うものとなった。

【哀悼】

当センター創成期より研究教育機関としての発展に寄与された村松安子・東京女子大学名誉教授が、闘病生活の末、2013年2月11日に惜しくも急逝された。村松先生は、開発とジェンダー、およびジェンダー予算分野における草分け的存在であり、本センターが女性文化資料館から女性文化研究センターとして昇格後は、客員教授として（1992年4月～1996年3月）、さらにジェンダー研究センターに改組後は研究協力員（1996年5月～2010年3月）として研究調査プロジェクトに長年関与され、非常勤講師としても若手研究者の育成を担われた。また、当センターの海外研究調査にも参加し、『アジア・太平洋地域の女性学と女性政策』（新曜社、1996年）にその成果を掲載頂いた。また、本学21世紀COEプログラム「ジェンダー研究のフロンティア」（2003～2007年度）プロジェクトA3（ローカルセンシティブな「開発とジェンダー」政策の構築の研究）、キャロリン・ソブリチャ招聘外国人客員教授の夜間セミナー（2006年、本号〈図書紹介〉参照）や、共同研究用経費プロジェクト「新自由主義の展開と女性政策の変遷」（2009年度）のシンポジウムにコメンテーターとして貢献をされた。ジェンダー研究教育拠点としての発展のために、惜しみないご尽力をいただいた村松先生のご功績を簡略ではあるが記しつつ、ここに謹んで哀悼の意を表したい。

編集事務局 徐 阿貴（研究機関研究員）

お茶の水女子大学ジェンダー研究センター年報
『ジェンダー研究』

第16号 編集委員会

委 員 長	足立真理子	人間文化創成科学研究科人間科学系 ジェンダー研究センター長・教授
	森 義仁	人間文化創成科学研究科自然・応用科学系准教授
	天野 知香	人間文化創成科学研究科文化科学系准教授
	荒木美奈子	人間文化創成科学研究科文化科学系准教授
	元岡 展久	人間文化創成科学研究科自然・応用科学系准教授
	舘 かおる	人間文化創成科学研究科人間科学系 ジェンダー研究センター教授
	申 琪榮	人間文化創成科学研究科人間科学系 ジェンダー研究センター准教授
事 務 局	徐 阿貴	ジェンダー研究センター研究機関研究員

平成25年 3月18日 印刷
平成25年 3月25日 発行

編集・発行 お茶の水女子大学ジェンダー研究センター

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1
Tel 03-5978-5846 Fax 03-5978-5845
E-mail igsoffice@cc.ocha.ac.jp
URL <http://www.igs.ocha.ac.jp/>

印刷・製本 株式会社コームラ

Tel 058-229-5858 (代) Fax 058-229-6001
